



挨拶を考える

教頭 鹿嶋 浩

元旦にニューイヤー駅伝を見て、2日、3日と箱根駅伝を見ることが年始の恒例になっている。どの選手もただひたすら仲間にたすきをつなぐために、また、ゴールを目指して力の限り走る。その選手一人一人の姿に私は感動を覚え、今年もまたテレビに釘付けになってしまった。

その中でも私の心に強く残っているシーンがある。それは、選手が走り終わった後に走ってきたコースに向かって頭を下げている姿である。たすきをつなぐやいなや道路脇に倒れ込み、サポートの方々が2、3人で起こしても立ち上がれない状態の選手が、立ち上がれるようになるとすぐにコースに向かって一礼しているのである。

さて、学校では挨拶の大切さを子どもたちに指導している。私たちは総じて「挨拶をすること」に重点を置いている。しかし、挨拶には「うけこたえ」という意味がある。例えて言えば、「おはよう」という言葉を相手に発する。その言葉を受けた相手が「おはよう」と返して初めて挨拶が完結するということを意味している。そう考えると、挨拶では「必ず相手が存在し、相手を思いやり、勇気づけようと気持ちを込めること」が大切なのであり、同時に「その気持ちを受けて、ありがとう、お互い今日がんばりましょう」という気持ちで挨拶を返す。こういった「おはよう」のキャッチボールこそが「挨拶」の目指すべき形なのであろう。

駅伝の選手がくたくたになっても、コースに感謝し、仲間に感謝し、走り切れたことに感謝する姿こそ、人と人、人と物のつながりの大切さを私に伝えてくれている。「挨拶は思いやりであり、感謝なのだ」とつくづく感じる。駅伝を見ながら、今年こそ「相手の心に響く、挨拶がしたい。相手の気持ちにこたえられる、挨拶を返したい」と思った次第である。

みんなげんきいっぱい はあとまつり



12月12、13日の二日間、本校創立40周年記念文化祭「はあとまつり」が行われました。開会式では、本校の四季を表現したクリアファイルが記念品として贈られ、はあとまつりの歌では、全校児童生徒の元気な歌声や手拍子、笑顔が体育館じゅうに広がりました。今年度のテーマは「みんなげんきいっぱい はあとまつり」。テーマ通り、「げんきいっぱい」にスタートしました。

小学部では、各学年が教室や特別教室で発表を行いました。6年生はブレイメンの音楽隊のミュージカル発表。物語に合わせて踊りや台詞を披露したり、フィナーレは全員で楽器演奏をしたりしました。卒業学年らしい堂々とした演技に、観客からは大きな歓声と拍手が送られました。

中学部では、発表を行ったり、かわいいカフェでおもてなしをしたりしました。3年生は、これまで学んできたことを発表し、最後に今までの感謝の気持ちを込めて合唱しました。体育館が生徒たちの歌声でいっぱいになり、感動的な発表となりました。

高等部は学年によってテーマが決められています。3年生は、「たのしい広島～みんなともだち～」と題し、修学旅行で学習した広島県に関するお店を作りました。「広島レッドシアター」では、修学旅行の思い出ビデオを上映し、生徒がナレーションをして広島の魅力を伝えました。ステージでは生徒が考えたオリジナルの歌を3年生が心をこめて歌い、盛り上がりました。

一人一人の児童生徒が学習の成果を発揮し、ご家族の方々や来校された方々からあたたかいお言葉と大きな拍手をいただくことができました。子どもたちにとって、本校にとって、素敵な記念のはあとまつりとなりました。

小学部の様子「5年生 ダンス交流」

5年生は、地域連携の一環として、10月2日・11月6日・12月4日の計3回、東海学園大学とのダンス交流を行いました。東海学園大学の先生に、児童の実態や課題に合ったダンスとストレッチ体操を考えていただき、大学の先生や学生に教えてもらいながら一緒に踊ろうという取り組みです。

第1回と第2回はダンスを行いました。人気アニメの主題歌にのせて、かっこいい振り付けが次々と紹介され、児童もワクワクが止まらない様子。第1回の交流が終わった後は朝の運動にこのダンスを取り入れ、第2回には成長した姿を大学のみなさんに披露することができました。

第3回はタオルを使ったストレッチ体操を行いました。変化のあるゆったりとした音楽に合わせて、児童もリラックスしながら集中して行うことができました。

今回の交流は、体を動かしながら児童と学生との関わりをたくさんもつことができ、児童からは笑顔があふれ、心から楽しんでいる様子が見られました。ダンスや体操の動きも大学の先生と話し合いながら、考えることができ、とても有意義なものとなりました。このダンスと体操を小学部全体で活用し、今後の児童の体づくりに役立てていきたいと思えます。



中学部の様子「3年生 修学旅行」

10月23日(木)、24日(金)の一泊二日で、大阪方面へ修学旅行に出かけました。出発時は小雨に降られましたが、大阪は快晴！天候に恵まれ、小原学園の友達とも一緒に楽しく交流することができました。

一日目の『USJ』では、『ジョーズ』や『スヌーピー』等々のアトラクションに乗り、「ギャアア〜」という声とともに友達にしがみついたり、かわいいアトラクションにニコニコ！ピースしながら笑顔で楽しんだりする姿が見られました。また、園内を歩いていると「シュレック」や「クッキーモンスター」が・・・、「おーい！」呼びとめては、みんなでハイチーズ！色々なアトラクションなどを体験していくなかで、生徒一人一人の様々な表情の変化を見ることができました。

二日目の『海遊館』では、ジンバイザメやマンボウなどがゆったりと泳いでいる姿にじっと見入っていたり、触れ合いコーナーで魚に触ったりしながら楽しむ姿が見られました。この二日間、全員がそれぞれに活動を楽しみながら過ごすことができ、中学部三年間の大きな成長を感じることができた修学旅行となりました。



高等部の様子「1年生地域交流活動」

高等部1年生では、地域との関わりをもち、人のために役に立つ豊かな人間性を形成することを目的とした、地域交流活動を行いました。当日は2班編制とし、「特別養護老人ホーム安立荘」と「千足町ふれあい広場」でそれぞれの清掃活動を行いました。

安立荘では、施設内の床掃除や窓掃除、中庭の草取り、利用者さんの車いす磨きをしました。クラスごとで分担された仕事を、それぞれがきちんとこなしていました。実際に利用者さんがいらっしゃる中での清掃活動は、普段の学校生活では味わえない、緊張感のある経験でした。

千足町ふれあい広場では、草取りやごみ拾いをしました。短い時間ということもあり、みんな集中して取り組むことができていました。残暑が厳しい中、大きなごみ袋5つをいっぱいにして学校に帰ってきました。

交流活動の最後には職員さんや利用者さん、千足町自治会区長さんからお礼の言葉をいただき、生徒たちにとって有意義な時間を過ごすことができたと思います。今回の「人のために役立つ」という経験を生かし、今後の生活に活かしてほしいです。



東名古屋病院 施設内学級



「みんななかよし」

「みんななかよし」という言葉は、昨年の施設内学級の学級訓です。

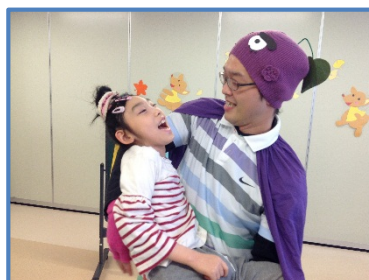
毎年、年の始めにみんなで話し合っ言葉を決めます。そして書き初めで一人一文字ずつ書いていきます。

私たち東名古屋病院施設内学級は、現在7名です。学年は小2から小5まで様々ですが、みんなとっても仲がいいです。朝の会も、生活単元学習も、自立活動も、いつも一緒にやっていて、家族みたいです。

ぴかぴかの新しい病棟に移ってちょうど1年がたちました。

病棟はもちろん、学校のスペースも明るい場所になり、毎日元気に登校しています。

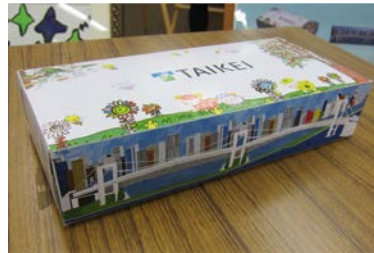
今年の学級訓も、またこれからみんなで決めたいと思いますが、「みんななかよし」は永遠の学級訓であり、これからも笑いの絶えない学級でありたいと思います。



だんだん BOX

だんだん BOX のお力添えで、生徒の絵画が様々な製品のデザインとして採用され、右のような製品になりました。

だんだん BOX は、障害のある方の絵画作品を、企業の製品のデザインとして活用してもらえるように活動をしている団体です。本校の生徒作品も数点採用されており、卓上カレンダーの 1 ページやティッシュ BOX、企業の情報誌の表紙などを飾らせていただきました。



愛びっくフライングディスク・バスケット大会の結果

◎愛びっくバスケットボール大会成績

男子 1 回戦 本校 10 - 21 豊川特支本宮校舎
 交流戦 本校 21 - 14 みあい特別支援学校
 女子 1 回戦 本校 4 - 5 守山養護学校産業科
 交流戦 本校 4 - 16 西養護学校

◎愛びっくフライングディスク大会成績

団体 A 予選 7 位 決勝 15 位
 団体 B 予選 28 位 決勝 27 位
 個人戦 10 名出場
 決勝進出 1 名
 河合 芳樹 決勝 3 位
 (銅メダル獲得)

3月までの主な予定

1月21日(水) 社会見学(高2)
 1月28日(水) 社会見学(高1)
 1月30日(金) 生徒会役員選挙(高)
 2月 6日(金) 社会見学(高3)
 13日(金) 入学願書受付開始～19日
 25日(水) 高等部入学者選考
 26日(木) 卒業生を送る会(高)
 27日(金) 卒業生を送る会(中)

3月 3日(火) 卒業証書授与式(高)
 4日(水) 入学者選考結果発表
 卒業生を送る会(小)
 10日(火) 卒業証書授与式(小中)
 20日(金) 後期終業式、修了式



発行 愛知県立三好特別支援学校

〒470-0213 愛知県みよし市打越町山ノ神1番地の2

TEL <0561> 34-4832 FAX <0561> 32-4232

<http://www.miyoshi-sh.aichi-c.ed.jp/>